

令和 3 年度

社会福祉法人庄内町社会福祉協議会

事 業 報 告 書

令和3年度庄内町社会福祉協議会事業の実施状況について

令和3年度本会事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなかで、地域で福祉活動を行うにあたり適切な予防対策や「新しい生活様式」に適応した活動のあり方等の周知、実践の徹底を図りながら、「第2期庄内町地域福祉活動計画」（平成29年3月策定）の総括（計画最終年度）として、当計画の基本理念である『健やかで やさしい 健康・福祉のまちづくり』と4つの基本目標を達成するため、本会が推進主体なり、地域住民、福祉員、民生委員・児童委員、専門機関・関係団体等の参画と協働のもと、地域福祉事業に取り組みました。

基本目標1 地域における「つながり」「支えあい」の構築について

協働による「つながり」の構築として、「集落いきいきサロン活動」への支援による、身近な地域で気軽に交流できる環境づくりを行うとともに、生活支援コーディネーター業務（庄内町から受託）においては、生活支援の担い手の養成・サービスの開発、関係者のネットワーク化等にあたり、「コーディネーターだより」による情報共有・発信を行い、地域における「つながり」の場づくりを推進しました。

「ボランティア活動の推進」では、ボランティアセンターの運営、地域活動団体等との連携等のほか、予期せぬ災害の際に、災害ボランティアセンターを運営するにあたり、地域団体、住民からの協力体制の推進を図りました。

また、**地域住民による「支えあい」を構築**すべく「福祉員活動の推進」「民生委員・児童委員活動の支援」をおこない、地域福祉を推進する組織との連携を強化し、地域全体での福祉的課題の把握、解決に努めました。

基本目標2 地域住民の「生活を支える」取り組みの推進について

総合相談の充実として、「庄内町福祉総合相談センター」を核とする、専門職による相談体制の整備、本会部署間及び関係機関との迅速かつ円滑な連携を図り、複合的な課題の解決の推進にあたりました。

また、**生活支援の推進**としては、日常生活において支援を必要とする方に対して、「食事（配食）サービス」「福祉サービス利用援助事業」等を活用し、適切なサービスの提供に努めました。

生活困窮者自立支援の促進では、生活困窮者等相談支援事業（庄内町から受託）において、一時的な相談窓口として、必要な情報提供および助言、県や関係機関との連絡調整など必要な援助を行うとともに、生活援護金や福祉資金などの本会独自のサービスの活用を図りながら、自立を支援しました。

基本目標 3 福祉サービスの充実に向けた取り組みの推進について

高齢者支援の充実として、「介護センターほほえみ」を運営、介護保険法に基づく「訪問介護事業（ホームヘルプ）」、「居宅介護支援事業（ケアマネジメント）」の実施、人員体制の整備によるサービスの強化、職員の資質向上のための研修を行い、利用者が安心して、自分らしく生活が送れるようサービスを提供しました。

また、地域包括支援センター（庄内町から受託）を運営し、高齢者の人権・財産を守るための支援や、住み慣れた地域で暮らし続けることができるための支援、認知症に対する支援を実施し、地域包括ケアシステムの構築を推進しました。

障がい児（者）支援の充実としては、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）に基づき、「障害者多機能型施設ひまわり園」を運営、「生活介護事業」「就労移行支援事業」「就労継続支援（B型）事業」「就労定着支援事業」を実施、利用定員を増員し、利用者個々のニーズに合った、きめ細かなサービスを提供しました。

地域活動支援センター（庄内町から受託）では、障がいのある人等の地域生活支援の促進を図りました。

また、障害者相談支援センター（庄内町から受託）を運営、関係機関と連携しながら、障がい福祉サービスの利用支援、社会資源活用のための支援、社会生活力を高めるための支援、各種支援施策につながる助言、情報提供等を行い、相談支援体制の充実を図りました。

ひきこもりサポート事業（庄内町から受託）では、ひきこもり相談会、居場所事業の実施、ひきこもりサポーターとの連携、関係機関との連絡調整を行いました。

基本目標 4 地域福祉推進のための「基盤づくり」について

社会福祉活動の周知・啓発、活動支援として、地域で福祉活動をおこなっている団体等が自主的かつ継続的に活動できるよう支援を行いました。

また、地域での福祉活動や本会の活動など、本会広報誌「福祉しょうない社協」、ホームページ等により地域に発信し、地域福祉活動への周知・啓発に努めました。

法人組織体制の強化としては、本会の効率的・効果的な事業推進、施設運営体制について、職員間で研究、検討する「事業推進ワーキンググループ」を設置、種々の課題に理事会、評議員会において、迅速かつ適切に協議する体制を整備しました。

以上、令和3年度本会事業の実施状況における概要とし、全般にわたる詳細は、部署ごとの事業報告に記載しております。

最後に、地域住民のみなさまのご理解とご協力、庄内町及び各関係機関団体のご指導とご支援を賜りまして各種事業を実施できましたことに深く御礼申し上げます。

1 法人運営(総務福祉課)

法人運営、事業執行のため、理事会等を効果的に開催し、各種事業、事務を適正に推進しました。

また、事務局内に各部署を横断した事業推進「ワーキンググループ」を設置し、令和2年度から引き続き部署だけでは解決できない課題等を共有し、課題解決に向け会議等を開催、報告書を提出いたしました。

(1) 組織推進体制の整備強化

①理事会の開催

開催年月日	開催内容
R3.6.8	第1回 理事会 開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 理事 9名 監事 2名 (1)議案第1号 専決処分事項の承認について(補正予算) (2)議案第2号 令和2年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会事業報告 (3)議案第3号 令和2年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会収支決算(監査報告) (4)議案第4号 令和3年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号)【ひまわり園拠点区分】 (5)議案第5号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会理事候補者の推薦について (6)議案第6号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会監事候補者の推薦について (7)議案第7号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会評議員候補者の推薦について (8)議案第8号 定時評議員会の招集について 報告事項 (1)職務執行状況報告について
R3.6.22	第2回 理事会 開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 理事 7名 監事 1名 (1)議案第9号 会長・副会長の選任について (2)議案第10号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について
R3.10.25	第3回 理事会 開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 理事 8名 監事 2名 (1)議案第11号 令和3年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会資金収支補正予算(第2号)【総務福祉課拠点区分】 (2)議案第12号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会理事候補者の推薦について (3)議案第13号 評議員会の招集について 報告事項 (1)職務執行状況報告について (2)事業推進ワーキンググループ会議報告について

開催年月日	開催内容
R3.11.1	第4回 理事会 開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 理事 10名 監事 2名 (1)議案第14号 会長・副会長の選任について
R4.3.23	第5回 理事会 開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 理事 10名 監事 2名 (1)議決第15号 専決処分事項の承認について【補正予算(第3号)】 (2)議決第16号 専決処分事項の承認について【補正予算(第4号)】 (3)議決第17号 専決処分事項の承認について【補正予算(第5号)】 (4)議案第18号 専決処分事項の承認について 【職員給与等支給規程一部改正】 (5)議案第19号 専決処分事項の承認について 【臨時職員等就業規則一部改正】 (6)議案第20号 専決処分事項の承認について 【第3期庄内町市域福祉活動計画】 (7)議案第21号 令和3年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会資金収支補正予算(第6号) (8)議案第22号 令和4年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会事業計画 (9)議案第23号 令和4年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会収支予算 (10)議案第24号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会職員給与等支給規程の一部を改正する規程の制定について (11)議案第25号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程の制定について (12)議案第26号 介護センターほほえみ指定居宅介護支援事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について (13)議案第27号 介護センターほほえみ指定訪問介護事業所及び指定介護予防・日常生活支援総合事業第1号訪問介護事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について (14)議案第28号 介護センターほほえみ指定居宅介護等事業所運営規程(居宅介護・重度訪問介護・同行援護)の一部を改正する規程の制定について (15)議案第29号 障害者多機能型施設ひまわり園指定生活介護事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について (16)議案第30号 障害者多機能型施設ひまわり園指定就労移行支援事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について 規程の一部を改正する規程の制定について (17)議案第31号 障害者多機能型施設ひまわり園指定就労継続支援(B型)事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について (18)議案第32号 障害者多機能型施設ひまわり園指定就労定着支援事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について (19)議案第33号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会育児・介護休暇等に関する規則の一部を改正する規程の制定について (20)議案第34号 評議員会の招集について

開催年月日	開催内容
	報告事項 (1)職務執行状況報告について (2)社会福祉法人庄内町社会福祉協議会福祉資金 不納欠損について

②評議員会の開催

開催年月日	開催内容
R3.6.22	第1回 評議員会(定時評議員会) 開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 評議員 12名 (1)承認第1号 専決処分事項の承認について(補正予算) (2)承認第2号 令和2年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会事業報告 (3)承認第3号 令和2年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会収支決算 (監査報告) (4)承認第4号 令和3年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会収支補正予算 (第1号)【ひまわり園拠点区分】 (5)議案第1号 理事の選任について (6)議案第2号 監事の選任について 報告事項 (1)職務執行状況報告について
R3.11.1	第2回 評議員会 開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 評議員 13名 (1)承認第5号 令和3年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会資金 収支補正予算(第2号)【総務福祉課拠点区分】 (2)議案第3号 理事の選任について 報告事項 (1)職務執行状況報告について (2)事業推進ワーキンググループ会議報告について
R4.3.30	第3回 評議員会 開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 評議員 15名 (1)承認第6号 専決処分事項の承認について【補正予算(第3号)】 (2)承認第7号 専決処分事項の承認について【補正予算(第4号)】 (3)承認第8号 専決処分事項の承認について【補正予算(第5号)】 (4)承認第9号 令和3年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会資金収支 補正予算(第6号) (5)承認第10号 令和4年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会事業計画 (6)承認第11号 令和4年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会収支予算 報告事項 (1)職務執行状況報告について (2)社会福祉法人庄内町社会福祉協議会職員給与等支給規程の一部を 改正する規程の制定についての専決処分事項について (3)社会福祉法人庄内町社会福祉協議会臨時職員等就業規則の一部を 改正する規程の制定についての専決処分事項について (4)第3期庄内町地域福祉活動計画の設定についての専決処分事項について

開催年月日	開催内容
	(5)社会福祉法人庄内町社会福祉協議会職員給与等支給規程の一部を改正する規程の制定について (6)社会福祉法人庄内町社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程の制定について (7)介護センターほほえみ指定居宅介護支援事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について (8)介護センターほほえみ指定訪問介護事業所及び指定介護予防・日常生活支援総合事業第1号訪問介護事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について (9)介護センターほほえみ指定居宅介護等事業所運営規程(居宅介護・重度訪問介護・同行援護)の一部を改正する規程の制定について (10)障害者多機能型施設ひまわり園指定生活介護事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について (11)障害者多機能型施設ひまわり園指定就労移行支援事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について (12)障害者多機能型施設ひまわり園指定就労継続支援(B型)事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について (13)障害者多機能型施設ひまわり園指定就労定着支援事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について (14)社会福祉法人庄内町社会福祉協議会育児・介護休暇等に関する規則の一部を改正する規程の制定について

③監事会の開催

実施年月日	実施内容
R3.5.27	内部監査 実施場所 余目老人福祉センター 出席状況 監事 2名 ・令和2年度 事業並びに会計に関する監査報告作成のための監査包括課、介護サービス課事業並びに収支決算諸表 ひまわり園、障害者相談支援センター事業並びに収支決算諸表 本部、総務福祉課事業並びに収支決算諸表
R3.6.3	庄内町監査委員による監査 実施場所 余目老人福祉センター 出席状況 監査委員 2名 ・令和2年度 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会 事業実施状況並びに会計決算処理状況について

④評議員選任・解任委員会開催

実施年月日	実施内容
R3.6.10	第1回 評議員選任委員会 実施場所 余目老人福祉センター 出席状況 評議員選任・解任委員 5名 (1)評議員の選任について (2)その他

⑤専門部会の開催

専門部会開催については、令和4年2月16日開催予定としていましたが、まん延防止等重要措置地域適用のため中止としました。

⑥事務局体制の強化

管理者等会議を月1回開催し、情報共有等を図り、事業推進に努めました。

開催年月日	開催内容
R3.4.21	協議内容 (1) 令和3年度事務分担について (2) 令和3年度庄内町社協のあらましについて (3) 令和3年度行事予定について (4) 5月業務予定について (5) 監査、理事会・評議員会の日程等について
R3.5.13	協議内容 (1) 1月～3月実績について (2) 6月業務予定について (3) 理事会・評議員会提出議案について
R3.6.17	協議内容 (1) 7月業務予定について
R3.7.21	協議内容 (1) 8月業務予定について (2) 4月～6月実績について
R3.8.25	協議内容 (1) 9月業務予定について
R3.9.21	協議内容 (1) 10月業務予定について
R3.10.22	協議内容 (1) 7月～9月実績について (2) 11月業務予定について (3) 理事会、評議員会日程及び提出議案について (4) 令和4年度当初予算に係る町補助金、町受託金の予算積算・要求作業について
R3.11.29	協議内容 (1) 12月業務予定について (2) 令和4年度当初予算概要について
R3.12.17	協議内容 (1) 1月業務予定について (2) 令和4年度部署別予算(補助金・委託金)要求額について
R4.1.20	協議内容 (1) 10月～12月実績について (2) 2月業務予定について

開催年月日	開催内容
	(3) 理事会、評議員会の日程について
R4.2.21	協議内容 (1) 3月業務予定について (2) 令和4年度事業計画(案)について (3) 令和4年度予算(案)について
R4.3.15	協議内容 (1) 4月業務予定について (2) 理事会、評議員会提出議案について (3) その他 ・臨時業務打合せ会(人事異動内示) 日程について ・辞令交付式について
R4.3.25	人事異動内示

(2) 周知・説明活動の推進

①福祉員会議の開催

福祉員会議については、社会福祉協議会が行っている事業の周知をさせていただくため、実施していましたが、コロナ感染症の拡大防止のため、各地区学区の代表の方と話し合いをした結果、全地区で福祉員会議を中止といたしました。

- ・庄内町民生委員児童委員協議会定例会での周知
コロナ感染症の拡大防止のため中止となりました。

②広報委員会の開催

開催年月日	開催内容
R3.6.24	協議内容 実施場所 余目老人福祉センター 出席状況 広報委員 5名 (1) 広報紙「福祉しょうない社協」について (2) 広報紙以外の広報活動について ・ホームページについて

③出前講座の開催

※包括課で実施した講座となるため、庄内町地域包括支援センター事業報告書に記載となります。

(3) 活動財源の確保

①会費収入の確保

地域福祉活動を実施するうえでの貴重な財源となる会費等について、町民の方々へ事業についてご理解とご協力をお願いいたしました。

また、本会の目的に賛同いただける個人や事業所へもご理解とご協力をお願いしました。

・口座振替の推進

実施年月日	実施内容
R3.7.15	本会広報「福祉しょうない社協」に掲載し、協力依頼
R3.8.15	社協会費納入依頼書発送時に口座振替申込書を同封し、協力依頼

・住民協力会費集落一括納付及び完納奨励金交付の実施

実施年月日	実 施 内 容
R4.1.20 ～	会費の一括納付及び完納集落に対し奨励金を交付し、円滑な納付の推進 一括納付対象集落 54集落 完納対象集落 49集落 一括納付及び完納対象集落 45集落 奨励金対象集落 58集落

・特別会員、賛助会員の拡充

実施年月日	実 施 内 容
R3.7.15	本会広報「福祉しょうない社協」に掲載し、協力依頼

②赤い羽根共同募金運動への協力

毎年10月1日から全国一斉に共同募金運動が展開され、地域の方々や企業等に募金活動の協力をお願いいたしました。

・山形県共同募金会庄内町共同募金委員会運営委員会の開催

開催年月日	開 催 内 容
R3.6.8	第1回 運営委員会 開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 運営委員 9名 (1)議案第1号 専決処分事項の承認について(補正予算) (2)議案第2号 令和2年度庄内町共同募金委員会事業報告 (3)議案第3号 令和2年度庄内町共同募金委員会収支決算 (令和2年度共同募金及び歳末たすけあい募金実績) (監査報告) (4)議案第4号 令和3年度庄内町共同募金委員会事業計画 (5)議案第5号 令和3年度庄内町共同募金委員会収支予算 (令和3年度共同募金及び歳末たすけあい募金目標額)
R3.6.22	第2回 運営委員会 開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 運営委員 8名 (1)議案第6号 運営委員の選任について (2)議案第7号 監事の選任について
R3.6.22	第3回 運営委員会 開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 運営委員 10名 (1)議案第8号 会長・副会長の選任について (2)議案第9号 審査委員の選任について
R3.11.1	第4回 運営委員会 開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 運営委員 10名 (1)議案第10号 運営委員の選任について (2)議案第11号 会長・副会長の選任について (3)議案第12号 審査委員の選任について

・山形県共同募金会庄内町共同募金会監事会の実施

実施年月日	実 施 内 容
R3.5.27	実施場所 余目老人福祉センター 出席状況 監事 2名 ・山形県共同募金会庄内町共同募金委員会 令和2年度会計決算処理状況について

・赤い羽根共同募金活動の実施

実施年月日	実 施 内 容
R3.10.1 ～12.31	共同募金運動の展開 ・戸別募金(各世帯)・法人募金等のお願い

④街頭募金の実施

コロナ感染症の拡大防止のため中止といたしました。

⑤赤い羽根共同募金配分の状況

(単位:円)

募 金 内 訳	1. 戸別募金(各世帯)	2,834,400
	2. 街頭募金	0
	3. 法人募金(会社等)	505,000
	4. 職域募金(役場等)	37,319
	5. その他	4,743
	合 計	3,381,462
配 分 内 訳	1. 令和4年度県内の施設等へ	1,215,000
	2. 令和4年度庄内町社協へ	2,166,462
	合 計	3,381,462

2 地域福祉事業(総務福祉課)

(1)地域ふれあい事業

①食事(配食)サービス事業

実施年月日	実 施 内 容
R3. 4. 1～ R4. 3.31	食事(配食)サービス事業(立川) ・対象者 65才以上のひとりぐらし高齢者・夫婦世帯 身体障害者世帯等 希望者 27名 ・内 容 毎週火曜日・金曜日の昼食 ・実 績 延べ90回 1,280個
R3. 4. 1～ R4. 3.31	食事(配食)サービス事業(余目) ・対象者 65才以上のひとりぐらし高齢者・夫婦世帯 身体障害者世帯等 希望者 24名 ・内 容 毎週水曜日・金曜日の昼食 ・実 績 延べ96回 1,340個

○集落いきいきサロン活動

地区・学区ごとの普及率

※()内は、2年度との比較

区 分	集落数	取組み集落数	普及率
全 体	115	73	63.5%
● 立 川	46	29 (-1)	63.0%
立谷沢地区	11	5 (±0)	
清川地区	14	9 (-2)	
狩川地区	21	15 (+1)	
● 余 目	69	44 (-6)	63.8%
第一学区	18	10 (-4)	
第二学区	18	13 (±0)	
第三学区	12	8 (-2)	
第四学区	21	13 (±0)	

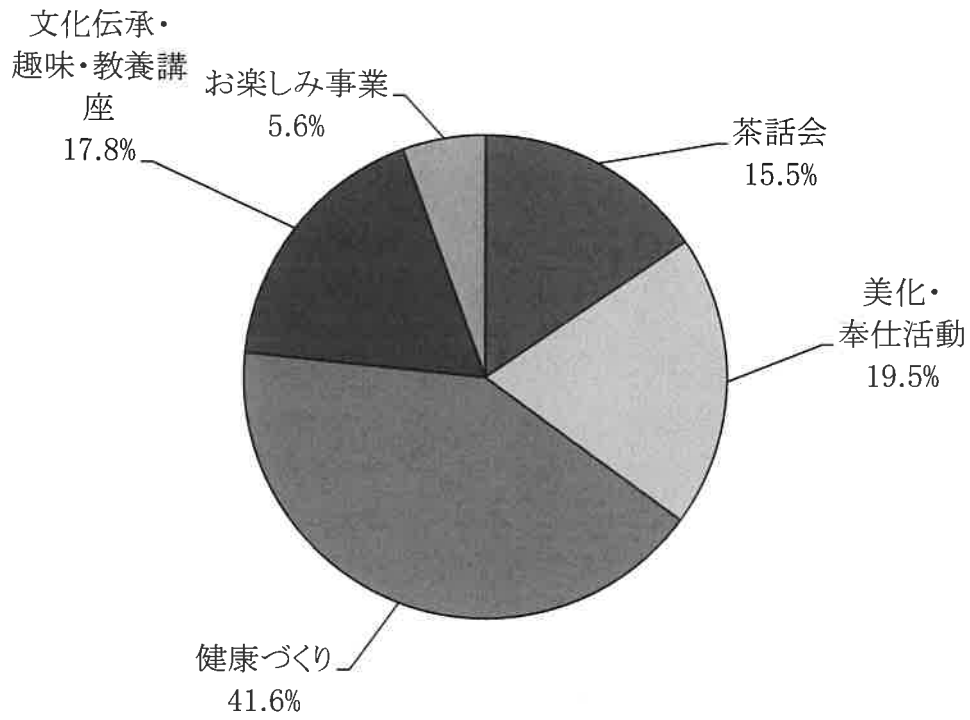
年度別活動集落数

年度	集落数
21年度	71
22年度	74
23年度	74
24年度	77
25年度	77
26年度	78
27年度	78
28年度	78
29年度	80
30年度	83
元年度	88
2年度	80
3年度	73

実施内容の分類

項 目	内 容
茶 話 会	集会所・公民館を利用し、おしゃべりやお茶飲みなどで楽しむ 計画(内容など)についての相談や反省会
美化、奉仕活動	花いっぱい運動・クリーンデー等の活動や、集落内の美観の維持などをかねてお茶飲み・食事会
健 康 づ くり	集落での軽スポーツやグラウンドゴルフ練習・大会 ストレッチ運動・脳トレ、生活習慣病の予防など、体力の維持・健康増進につながる教室を開催
文 化 伝 承 趣味・教養講座	「出前講座」、「病院の医療講演」、「交通安全教室」、地域の方のお話(講話)、陶芸や料理など趣味の教室や映画の観賞、集落に伝わる昔の行事等の伝承による世代交流など
お 楽 し み 事 業	お花見、芋煮会、忘・新年会などの季節の行事 町内外の施設見学や温泉保養など

集落いきいきサロン活動内容の比較



令和3年度いきいきサロン活動実施内訳

実施回数 延べ897回

茶話会	美化・奉仕活動	健康づくり	文化伝承・趣味・教養講座	お楽しみ事業
139	175	373	160	50

897

(2)生活困窮世帯等支援事業

①生活福祉資金貸付制度（県社協からの受託）

令和2年度からのコロナ感染症特例貸付制度により、コロナ感染症の影響による収入の減少による、生活の維持が困難な世帯の貸付申請が引き続き多くなりました。

緊急な対応として、大型連休時に相談窓口を設置し、相談対応を図りました。

資 金 種 別	貸付件数	貸付金額	据置件数	据置金額	滞納件数
福祉資金	福祉費	8	5,642,000	0	0
	緊急小口	7	559,000	0	0
	緊急小口（コロナ特例）	35	6,445,000	32	6,153,000
住 宅 資 金	0	0	0	0	0
教育支援資金	教育支援費	18	34,954,000	4	7,800,000
	就学支援費	24	9,123,000	5	1,225,000
離職者支援資金	0	0	0	0	0
総合支援資金	総合支援資金	2	3,020,000	0	0
	コロナ特例	19	10,150,000	19	10,150,000
計	113	69,893,000	60	25,328,000	16

内 令和3年度新規貸付

資金種別	貸付件数	貸付金額	据置件数	据置金額
福祉資金	福祉費	2	720,000	0
	緊急小口	0	0	0
	緊急小口（コロナ特例）	10	2,000,000	10
教育支援資金	教育支援費	2	1,800,000	2
	就学支援費	1	500,000	1
総合支援資金	総合支援資金	0	0	0
	コロナ特例	10	5,350,000	10
合 計	25	10,370,000	23	9,650,000

②福祉資金貸付状況

貸付状況

貸付原資	貸付件数	貸付金額	貸付限度額	貸付期間	備 考
1,000,000 円	9 件	239,000 円	1 件 50,000 円	10ヶ月	利子（無利子）保証人（1名）

償還状況

過年度貸付繰越額	本年度貸付額	計	本年度償還額	不納欠損	未償還額（貸付中）	原資繰越額
13 件	9 件	22 件	11 件	1 件	16 件	
324,000 円	239,000 円	563,000 円	287,000 円	15,000 円	369,000 円	631,000 円

③生活援護金の支給

実施年月日	実 施 内 容
R3.8.9	生活援護金支給 175世帯 1,412,000円

④歳末たすけあい運動募金活動の実施

実施年月日	実 施 内 容
R3.11.1 ～12.31	歳末たすけあい運動募金の展開 ・戸別募金(各世帯)、職域募金、学校募金等のお願い
R3.12.9	歳末たすけあい運動募金配分委員会 開催場所 庄内町余目老人福祉センター
R3.12.22 ～12.25	歳末たすけあい運動募金配分

・歳末たすけあい運動募金配分の状況

(単位:円)

募 金 内 訳	1. 戸別募金(各世帯)	1,945,009
	2. 職域募金(事業所等)	103,059
	3. 学校募金(児童・生徒・教職員)	70,466
	4. 篤志募金(篤志者等)	89,124
	合 計	2,207,658
内配 訳分	1. 低所得者援護	2,154,000
	合 計	2,154,000

収入支出差引残金 53,658円は、令和4年度庄内町社会福祉協議会地域福祉活動費として配分予定

・ご寄贈いただいた物品

福祉餅(丸もち500g入) 180袋 余目町農業協同組合様
精米(2kg入他) 約1,100kg
あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト実行委員会様
対象世帯へ贈呈

(3)総合相談事業

・法律相談の実績

日常生活に直面する法律的諸問題のうち、その解決に専門的な法律の知識を要するものについて、弁護士による適切な指導、助言を受け問題解決を図るため、法律相談を年間6回実施しました。

○余目会場

開設日数		4 日		利用率		75.0%					
相談利用者		12 名（男性 6 名 女性 6 名）									R2
NO	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	計
相談内容	財産	契約	消費貸借	貸借	消費者被害	損害賠償	離婚	相続	その他		
件数	1	1					3	4	3		

○立川会場

開設日数		2 日		利用率		75.0%					
相談利用者		6 名 (男性 3 名 女性 3 名)									R2
NO	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	計
相談内容	財産	契約	消費貸借	貸借	消費者被害	損害賠償	離婚	相続	その他		
件数						1	1	1	3		

(4)ボランティア推進事業

ボランティア活動の推進において、ボランティアセンターの運営、ボランティアに関する相談窓口、連絡調整などの事業推進を図りました。

実施年月日	実 施 内 容
R3. 4. 1～ R4. 3.31	社協ボランティアセンター 設置場所 立川老人福祉センター ・ボランティアの相談窓口・連絡調整

実施年月日	実 施 内 容
R4.1.21～	除雪ボランティア ・「庄内町豪雪対策本部」の立ち上がりにより、「除雪ボランティア活動実施要綱」に基づき活動開始。対象世帯の募集と、活動者の追加募集。 ・ボランティア活動者登録数 団体:2団体 個人:6名 ・相談件数:2件 ・活動件数:5件
R3.8.3、4	手話教室(全2回実施) ・今年度対象:立川地区 ・開催場所 狩川公民館 講師 山形県聴覚障害者協会庄内支部 三ツ澤 幸氏 (庄内町手話通訳者) 荒木 伸一郎氏 参加延べ人数 115名 (R2:回実施延べ33名)
R3.9.17	庄内町ボランティア連絡協議会交流研修会 「初めてのセラピス」 講 師 富樫 希江 氏 開催場所 立川体育センター
R3.11.16	庄内町ボランティア連絡協議会研修会 寸 劇 「雨の日の避難～あなたならどうする～」 講 演 てまりの会 開催場所 狩川公民館
R3.12.24	広げようボランティアの輪連絡会議総会 コロナ感染拡大防止のため書面にて決議
R4.3.25	広げようボランティアの輪連絡会議研修交流会代替事業として 広 報 「ボランティアのすすめ」 発行

(6) 広報活動

① 社協広報発行の状況

実施年月日	実 施 内 容
R3.7.15	広報「福祉しょうない社協」第46号発行

② 社協ホームページ閲覧の状況

実施年月日	件 数
R3. 4. 1～ R4. 3.31	ホームページ閲覧ページ数 15,369件(月平均1,280件)

(7) 福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)の状況(県社協から受託)

実施年月日	実 施 内 容
R3. 4. 1～ R4. 3.31	サービス利用者 10名 基幹的社協専門員(3名)・生活支援員(4名)との連携により支援

実施年月日	実 施 内 容
R3.7.29	基幹的社会福祉協議会専門員連絡会議・専門員研修会 出席:専門員2名(オンラインによる研修会)
R3.10.26	基幹的社会福祉協議会専門員連絡会議・生活支援員研修会 出席:専門員2名、生活支援員4名(オンラインによる研修会)
R3.12.3	基幹的社会福祉協議会担当職員研修会 出席:専門員1名(オンラインによる研修会)
R4.3.3	基幹的社会福祉協議会事務局長会議 オンラインによる会議

※庄内地区福祉サービス利用援助事業生活支援員研修会はコロナ感染防止のため中止となりました。

・研修、会議等参加の状況

年月日	研 修 ・ 会 議 等 内 容	開催場所
R3.4.16	庄内町老人クラブ連合会総会	立川老人福祉センター
R3.4.19	庄内町自治会長会総会	響ホール
R3.5.18	庄内町ボランティア連絡協議会総会	立川老人福祉センター
R3.5.19	市町村社協事務局長会議	zoom
R3.6.25	災害時における協力に関する協定書の締結式	酒田市「ホテルリッチガーデン」
R3.7.20	地域福祉・ボランティア担当研修会	zoom
R3.8.7	感染予防研修会	余目老人福祉センター
R3.8.23	成年後見人研修会	zoom
R3.8.30	山形県社協ヒアリング	余目老人福祉センター
R3.9.3	生活支援体制整備協議会会議	役場B棟
R3.9.9	山形県共同募金会事務局長会議	zoom
R3.11.8	高齢者見守りネットワーク会議	役場B棟
R3.11.9	生活福祉資金担当者会議	zoom
R3.11.19	庄内町自治会長会研修会	響ホール
R3.11.19	権利擁護研修会	zoom
R3.11.22	市町村社協総務係担当者会議	zoom
R3.12.1	福祉活動担い手養成研修会	zoom
R3.12.2	育児休業研修会	三川町「いろり火ホール」
R4.2.6	防災とボランティアのつどい	zoom
R4.2.25	山形県共同募金会事務局長会議	zoom
R4.2.25	令和3年度ボランティア職員ネットワーク会議	zoom
R4.2.28	余目生活学校50周年記念式	余目第2公民館
R4.2.28	生活福祉資金担当者会議	zoom
R4.3.6	多様な主体間における連携促進のための研修会	zoom
R4.3.14	全国社会福祉協議会全国大会	zoom
R4.3.17	令和3年度山形県福祉共育セミナー	zoom

3 生活支援事業（総務福祉課）

（1）生活困窮者等相談支援事業

①生活困窮者等相談事業の相談業務

・一時的な相談支援について

生活困窮者等相談支援員 1 人を庄内町福祉総合相談センターに配置し、生活困窮者等相談業務を実施しました。今年度は、昨年多かったコロナの影響を受けた方からの生活費確保の相談に加え、支払いに関する相談が多い傾向にありました。生活困窮者等相談窓口の周知と継続した関係機関との情報共有に取り組んだことで、事業所や各種窓口による紹介や相談から面談に至るケースが増加したことを実感しております。その中で自立相談支援機関による支援が必要になった支援が必要になった場合は、個人情報提供の同意を得たうえで生活自立支援センターさかたへお繋ぎしました。

要保護者になる恐れが高い相談者への生活保護制度の情報提供や助言については、庄内町保健福祉課福祉係と連携して対応しております。加えて、高齢者・障害者等の生活困窮状態の解消や再建についても、庄内町福祉総合相談センターの機能を生かしながら、庄内町役場各課と連携した対応に努めることが出来ました。

相談者一人ひとりに寄り添った継続的な相談支援に取り組んだことで、相談件数も増加しております。

②都道府県との連絡調整・支援のサポート等について

相談内容により、庄内町役場各課、生活自立支援センターさかた、庄内町社会福祉協議会、庄内総合支庁のケースワーカー等と連携を図り支援を実施しました。また、生活自立支援センターさかたが主催する支援調整会議に出席し、支援の終結や継続にあたる関係機関へのフォローアップも行いました。

コロナ禍で減少している研修や会議についても、自主的にZoomを活用して参加し、情報交換を行って参りました。

◎連携した関係機関

法人・公的機関

山形県社協、庄内町役場、庄内町社協、酒田市社協（生活自立支援センターさかた）
庄内総合支庁、庄内警察署、ハローワーク酒田、庄内障害者就業・生活支援センターかでの、庄内町障害者相談支援センター、庄内町地域包括支援センター
福祉施設（ひまわり園、こもれび、ドレミファ、くじら、光風園、徳洲苑、ソーラナ、山水園、ゆい等）、病院医療相談室（日本海総合病院、庄内余目病院）、
やまがた福わたし、明日のたね、出羽庄内国際村、余目郵便局、東北労働金庫、消費生活センター、地域生活定着支援センター、シルバー人材センター 等

地域資源 庄内町民生委員・児童委員、福祉サービス利用援助事業、庄内町ひきこもり相談会

その他 余目町農業協同組合、庄内たがわ農業協同組合、(株)安藤組、イエスステーション酒田店、後藤初太郎商店、西王不動産、(有)佐々木水道 等

◎参加した会議・研修等

生活自立支援センターさかた支援調整会議、庄内地域生活保護受給者等就労自立促進協議会、ひきこもり相談連絡会議、地域コーディネーター養成研修、地域づくり人材育成養成研修、庄内地域自殺対策支援者研修会、庄内町居宅介護支援事業所研修会、事例検討会、担当者会議、庄内町民生委員推薦会、ひきこもり構成講座研修会、生活福祉資金担当者会議、権利擁護関連勉強会、

地域見守り会議(第1地区、第6地区)、生活困窮者自立支援全国研究交流大会、歳末たすけあい募金配分委員会、地域ケア個別会議、山形県の未来をつくる～子どもの若者支援～講演会、北海道・東北ブロック地域生活定着支援センター研修会

③町長が必要と認める支援

コロナの影響を受けた相談者や継続した生活困窮状態にある相談者に対して、生活の安定と経済的負担の軽減を図るために実施された、「庄内町生活困窮者世帯コロナ対応生活応援事業」に携わりました。生活困窮者の情報提供や名簿の作成、連絡調整や状況報告を行いました。

1. 相談者数

実人数	延べ人数
148	1,016

2. 相談方法(主たるものに1カウント)

方法	来所	電話	訪問	関係機関	その他	計
件数	222	335	38	358	63	1,016

3. 相談内容(主たるものに1カウント)

内容	収入・生活費 のこと	支払い のこと	仕事 のこと	食べ物が ない	金銭管理 について
件数	341	125	80	49	18

内容	家族関係 のこと	その他	計
件数	78	325	1,016

4. つなぎ先(主たるものに1カウント)

内容	情報提供・傾聴	生活自立支援 センターさかた	県社協貸付	町社協貸付	その他	計
件数	921	42	31	7	15	1,016

5. 月別相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	87	73	100	77	66	75	72	85	93

月	1月	2月	3月	計
件数	91	89	108	1,016

(2) 障害者相談支援事業（庄内町障害者相談支援センター）

①相談支援事業について

- ・福祉サービスの利用援助（情報提供、相談等）
- ・社会資源を活用するための支援（各種支援施策に関する助言、指導等）
- ・社会生活力を高めるための支援
- ・権利擁護のために必要な援助
- ・専門機関の紹介

当センターは、「障害者総合支援法」に基づく、身体・知的・精神、その他障がいに対応している一般相談支援事業所です。庄内町における障がい児・者（以下当事者）やご家族の方々が、お気軽に相談していただけるように事業実施をしております（別紙1参照）。また、令和2年5月より高齢者、生活困窮、ひきこもり、障がいの相談機能を持つ庄内町福祉総合相談センターが開設し、複合的な課題を抱えている当事者やご家族に対して連携した支援をしております。相談件数は、前年度と比較して185件増加し、電子メールでの相談が増加しております。

- ・地域自立支援協議会の運営の協力
- ・専門的な相談支援を要する困難ケース等への対応

当事者の状態に応じたニーズを見極め、地域で当事者を支えるネットワークの構築を図ることで継続した支援に繋がります。当センターでは当事者の方々が、住み慣れた地域での安心した暮らしを送るために地域で何ができるのかを協議する地域自立支援協議会を庄内町と共同で開催しております。

調整会議では、町内の障がい福祉サービス事業所から参加いただき、庄内町 SUNバザーの取り組みや庄内町自立支援協議会の今後のあり方、庄内町障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例、地域生活支援拠点整備などについて確認を行いながら、庄内町としてどのような支援をしていくのかについて検討いたしました。

◎庄内町地域自立支援協議会 実績（全2回）

会議・部会名	開催日	開催回数
調整会議	10月27日（水）	2回
	3月24日（木）	

◎参加した会議・研修会等

庄内町子育て支援連絡会議全体会議、庄内地域若者自立支援ネットワーク会議、障がい者就労活動活性化協議会並びに庄内就業・生活支援センター連絡協議会、鶴岡高等養護学校業務連絡会議、地域生活支援セミナーIN庄内、障がい者雇用促進セミナー、「心のバリアフリー推進委員長」養成研修会、鶴岡高等養護学校就労支援連絡会、子ども虐待防止講演会、ひきこもり支援市町村意見交換会、地域包括支援センター等庄内連絡会研修会、成年後見セミナー、講演会「山形県の未来をつくる～子ども・若者支援～」、認知症初期集中支援チーム員伝達研修、ギャンブル依存相談支援者研修会、山形県自立支援協議会相談支援協議会、庄内町福祉まちづくり講演会、庄内・最上保健所ひきこもり相談支援者研修、地域づくり人材養成研修、山形県障がい者相談支援従事者研修、権利擁護関連勉強会、思春期精神保健研修会、地域移行事例調査報告会、地域福祉活動計画策定委員会、知的・発達障害疑似体験出前講座、ペアレント・トレーニング

◎連携した関係機関

行政機関：山形県・鶴岡市・酒田市・庄内町・遊佐町・三川町

公的機関：庄内警察署・ハローワーク・障害者就業・生活支援センター・庄内地域若者サポートステーション・山形県職業訓練センター、生活自立支援センターさかた、山形県難病相談支援センター

障がい福祉関係機関等：サービス支援事業所、特定相談支援事業所、介護支援事業所

医療機関：医療相談室・医療連携室

教育機関：小・中・高等学校（特別支援学級含む）、特別支援学校、庄内町教育委員会

地域資源：障がい児・者親子の会たんぽぽの会、あっとほーむ

民生・児童委員、福祉サービス利用援助事業、庄内町ひきこもり相談会

②基幹相談支援センター事業について

・総合的、専門的な相談支援の実施

昨今の状況としては、当事者だけでなく家族全体で複合的な課題を抱えているケースが多くなっており、障がいに限らず多職種と連携して包括的な支援体制を構築する必要があります。また、親亡き後の支援体制の強化も必要となっており、障がいをお持ちの方が住み慣れた地域で暮らしていくためにも町民の方への障がいに対する周知が重要となっております。その実現に向け、必要に応じては町内に限らず広域的な社会資源や福祉サービスなどの情報収集にもより一層力を入れながら地域に開かれ且つ地域から信頼される事業所を目指して参ります。

・地域の相談支援体制の強化の取組

障がい福祉サービスをご利用になる当事者は特定相談支援事業所により「サービス等利用計画」が作成され、庄内町から支給決定を受けることでサービス受給者証が交付されます。当センターでは、「サービス等利用計画（案）」の段階で当事者のニーズに合ったサービス利用であるか、必要なモニタリング（計画に照らして状況把握を行い、決められたサービスや支援が提供されているかのチェック）の時期設定であるか等、庄内町とサービス等利用計画会議を開催し協議しています。これらは、障がい特性に応じたサービス利用を支援するとともに、サービスの適正利用にも繋がっております。

開催場所：庄内町保健センター、庄内町役場

参集者：庄内町保健福祉課福祉係長・身体・知的・精神障がい各担当

町内障がい福祉サービス事業所管理者、庄内町障害者相談支援センター相談員

◎サービス等利用計画会議開催実績（全12回）

上半期 全6回	検討件数	下半期 全6回	検討件数
4月28日（水）	11件	10月26日（火）	17件
5月28日（金）	15件	11月29日（月）	14件
6月28日（月）	26件	12月23日（木）	30件
7月28日（水）	16件	1月26日（水）	10件
8月30日（月）	16件	2月25日（金）	55件
9月29日（水）	34件	3月25日（金）	51件

・地域移行、地域定着支援会議

精神科病棟に入院していた当事者が、地域に戻り安心して生活できるように町や通所事業所、相談支援事業所、医療機関等の関係機関と情報共有を密に行い、連携を図りながら地域に定着できるよう支援を行いました。

例年当事者やご家族が地域にある社会資源を把握したり、受け入れ側である地域の皆様に障がいについて理解をいただくことを目的に障がい児・者サービス事業所見学会を開催していましたが、新型コロナウイルス感染症が流行してからは中止となっております。今年度につきましては、12月の「障害者週間」及び「山形県障がい者差別解消強化月間」にあわせて花笠ほ一ふ隊による知的・発達障害疑似体験出前講座を開催しました。知的・発達障がいをお持ちの方が抱えるわからない、できない、書けない、聞き取れない、見えない、伝わらない、伝えられないなどのもどかしい気持ちを疑似体験していただきました。

・権利擁護・虐待の防止

庄内町と連携して情報収集して参りましたが、今年度に関しては虐待と判断されるケースはありませんでした。

令和3年度 庄内町障害者相談支援センター相談実績

1 障がい種別

	実人数	延人数	身体障がい	重症心身障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	高次脳機能障がい	難病	その他
障がい児	10	72	0	0	68	0	0	0	0	4
障がい者	116	2,904	105	0	850	1,707	41	49	15	137
合 計	126	2,976	105	0	918	1,707	41	49	15	141

2 相談方法(主たるものに1カウント)

方法	訪問	来所	同行	電話	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
件数	200	189	78	928	521	42	1,014	4	2,976

3 相談内容(主たるものに1カウント)

内 容	福祉サービスの利用	障害や病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族・人間関係	家計・経済	生活技術	就労支援
件数	738	25	624	581	11	278	149	59	320
内 容	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	計					
件数	83	12	96	2,976					

4 月別相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
相談件数	293	246	289	221	249	246
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
相談件数	270	241	234	232	208	247

(3) ひきこもり対策推進事業(ひきこもりサポート事業)

①概要

平成28年度から庄内町にてひきこもり対策推進事業(ひきこもりサポート事業)を実施してまいりましたが、令和元年度より当事業事務局業務を庄内町から委託を受けて庄内町障害者相談支援センターで事業実施をしております。相談会には山形県で実施しているひきこもり相談支援者専門研修会を受講したひきこもりサポーター2名と当センターの相談員に加え、今年度からアドバイザーとして県から若者相談支援拠点設置運営事業を委託されている多機能型福祉施設こもれびの相談員から協力をいただ

きました。相談会で聞き取りした内容の状況に応じ、関係機関と情報共有を図りながら支援を検討いたしました。相談会だけではなく、訪問や手紙でアプローチをするケースもあり、当事者の外出の機会づくりを行いました。また、新たな試みとして当事者本人と LINE 電話を用いて面談を行いました。相談会と違った本人のリラックスした表情が見られたり、部屋の様子を確認することができました。今後も、当事者や家族に合わせた支援を提供できるよう対応方法を検討していきたいと考えております。

今年度8月より当事者の居場所支援として、多機能型福祉施設こもれびと共同でフリースペースひなたを開設しました。外に出ることに不安を抱える方の一步目の居場所として、居場所を提供し参加者の希望によりボードゲームなどをして過ごしました。

②相談会・フリースペースひなた実績

ひきこもり相談会は毎月2回（余目・立川）開催いたしました。また、新規相談の場合、関係機関と情報共有を図りました。今年度3月末で継続ケースは7件、その内新規ケースは3件でした。来所される方のほとんどが当事者の母であり、相談会では当事者の自宅での様子や母の日ごろの思いを傾聴しました。時には自宅での関わり方等の助言を行い、ご本人の状態に応じて適切な支援機関へ繋ぐことができました。今年度は当事者本人が相談に来るケースもありました。

また、フリースペースひなたは月1回（余目・立川隔月）開催いたしました。当事者の特技を生かし、町のイベントと絡めて社会参加の場を提供したケースもありました。

③調整会議実績

ひきこもり相談会では情報共有と今後の支援の方向性等を検討するため、関係機関を入れて協議する調整会議を今年度は4回開催いたしました。それぞれが持っている情報を共有し、分野の専門的な見解をいただくことができました。また、検討ケースなどにおいても情報共有し、フォローアップ体制の整備を行いました。

場所：庄内町保健センター、庄内町役場 B 棟 2 階 会議室 1

参集範囲：ひきこもりサポーター、庄内町保健福祉課福祉係、健康推進係、庄内町教育委員会
生活困窮者等相談支援員、地域活動支援センター、多機能型福祉施設こもれび、
庄内町障害者相談支援センター

◎開催実績

開催日	検討内容
7月12日（月）	・現状報告（継続ケース4件、その他のケース1件） ・令和3年度ひきこもり相談会について
11月18日（木）	・現状報告（継続ケース4件、検討ケース1件） ・フリースペースひなたについて
2月28日（月）	・現状報告（新規ケース3件） ・家族教室の開催について
3月29日（火）	・現状報告（継続ケース7件） ・フリースペースひなたについて ・令和4年度ひきこもり相談会について

令和3年度ひきこもり相談会相談実績

開催日	場所	件数	備考
4月13日	立川老福センター	1	
4月27日	余目老福センター	2	
5月11日	立川老福センター	1	
5月25日	余目老福センター	2	
6月8日	立川老福センター	1	
6月22日	余目老福センター	2	
7月13日	立川老福センター	1	
7月27日	余目老福センター	2	
8月10日	立川老福センター	1	
8月24日	余目老福センター	2	
9月14日	立川老福センター	1	
9月28日	余目老福センター	2	
10月12日	立川老福センター	1	

開催日	場所	件数	備考
10月26日	余目老福センター	2	
11月9日	立川老福センター	1	
11月30日	余目老福センター	2	
12月14日	立川老福センター	1	
12月28日	余目老福センター	4	新規2件
1月11日	立川老福センター	1	
1月25日	余目老福センター	2	
2月8日	立川老福センター	0	開催中止
2月22日	余目老福センター	2	
3月8日	立川老福センター	1	
3月22日	余目老福センター	3	
	合計	38	

令和3年度フリススペースひなた実績

開催日	場所	内容	当事者	家族	職員	その他	計
8月6日	立川老人福祉センター	・ボードゲーム	1	1	3	0	5
9月3日	余目老人福祉センター	・ボードゲーム ・イラスト	2	2	3	4	11
10月1日	立川老人福祉センター	・カードゲーム ・ボードゲーム	3	1	3	0	7
11月5日	余目老人福祉センター	・ボードゲーム ・PC ・散歩	2	0	2	0	4
12月3日	立川老人福祉センター	・カードゲーム ・ボードゲーム	2	0	2	0	4
1月14日	余目老人福祉センター	・イラスト・PC	2	0	2	0	4
2月4日	立川老人福祉センター	開催中止					0
3月4日	余目老人福祉センター	・カードゲーム	3	1	2	1	7
		合計	15	5	17	5	42

4 庄内町地域包括支援センター事業

職員体制は、主任介護支援専門員 2 名、保健師 2 名、社会福祉士 2 名にて、余目、立川で業務を行いました。主任介護支援専門員の内 1 名はソラーナから出向、保健師 2 名の内 1 名は庄内町（以下「町」と記載）から派遣をいただき、高齢者の介護や暮らしに関する相談に応じました。

包括余目では福祉総合相談センターの相談窓口として、障害者相談支援センター、生活困窮者等相談支援員と連携を図りながら相談に当たっています。

1. 地域包括支援センターの運営に関わる事業

① 包括的支援事業

相談等件数は合計 1,931 件でした。

表 1) 相談件数（介護予防支援事業を除外）（延数）

相談 担当	相談区分		相談方法				件数
	新規	継続	電話	来所	訪問	その他	
R1 年度	345	2,399	1,434	279	753	278	2,744
R2 年度	275	1,705	973	273	620	94	1,980
R3 年度	347	1,584	899	256	672	105	1,931

特徴としましては、役場 B 棟 3 階にある福祉総合相談センター内の障害者相談支援センター、生活困窮者等相談支援員と一緒に相談を受ける複合的な課題を持ったケースがありました。また役場から連絡をいただいたり、役場 A 棟に出向いて相談を行ったりもしています。

ア 総合相談支援業務（1 件の相談でア～ウの複数の対応をしている場合有り）

総数 1,245 件（前年度 1,410 件）で、本人からの相談が 412 件で、介護申請・施設入所等（総合事業含む）相談 78 件、実態把握 167 件、介護予防・健康・医療等 16 件、その他のサービス利用支援 63 件でした。家族介護者からの相談は 468 件。内容で最も多いのは介護申請・施設入所等 216 件となっています。地域・医療機関からの相談は 365 件で、そのうち、サービス利用・施設入所 87 件、在宅医療介護等（入退院相談）が 82 件となっています。病院の相談員や庄内警察署から認知症の方への支援の要請、民生委員から独居の方の体調不良についての相談が寄せられました。

イ 権利擁護業務

総数 321 件の内、困難事例対応 229 件、高齢者虐待対応 64 件、成年後見制度関係対応 9 件でした。

高齢者本人より先に中高年の子が病に伏したり、亡くなってしまうことで生活が成り立たなくなる方の相談などがあり、年々身寄りのない方の相談が多くなっています。さらには認知症のためゴミ屋敷の状態になり支援するケースが増えました。近隣に親族がいないため運転免許返納する際に警察署と連携しながら対応するケースも複数ありました。その際には民生委員や地域の方と協力しながら生活を見守り、専門医受診に導いたり、庄内警察署や消防署等に見守りを願うなどして対応しています。

高齢者の財産管理については町内の司法書士や行政書士、社会福祉協議会の福祉サービス利用援助事業担当者と日頃から相談や情報共有を行い、地域の実情に即しながら利用者それぞれの状況に応じた支援を行っています。判断能力が低下しても、尊厳を保持して生活できるように、行政や・医療機関・地域の事業所と連携して支援していきます。

権利擁護関連勉強会を開催し、鶴岡公証役場 公証人 中野亨氏より「終活と公証役場～遺言・任意後見契約・死後事務委任契約を中心に～」と題しご講義いただきました。

消費者被害防止の取組としては、町内の居宅介護支援事業所にメールにて月 1 回庄内消費生活センター情報紙を提供しました。

高齢者虐待対応としては、通報のあったケースの状況確認を関係機関と連携し事実確認等行いました。受理会議への参加が 11 回、モニタリング会議には 7 回参加しました。

ウ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

総数 391 件の内、主なものとして介護支援専門員支援・相談 97 件、地域連携・協力 19 件、支援困難事例指導・助言 38 件でした。

介護支援専門員支援・相談の内容としては、身寄りのない方や生活困窮世帯、障がいのある子と暮らす高齢者への支援等複合的な課題を抱える世帯については、状況を同行訪問しながら把握し、継続的に支援しています。生活困窮者等相談支援員や障害者相談支援センターと連携しながら在宅生活を続けられるように支援を続けています。

地域見守り会議の開催は、コロナ禍の中、感染症対策を行いながら各地区の民生委員、保健福祉課、居宅介護支援事業所、社会福祉協議会福祉系の協力で開催し、地域の見守りの情報交換を行いました。

②その他の包括的支援事業

ア 在宅医療・介護連携推進事業

地域の在宅医療・介護連携を支援する窓口として、相談の受付や入退院の際の地域医療関係者と介護関係者との連携、患者、利用者又は家族の要望を踏まえた地域の医療機関等・介護事業者相互の紹介を行いました。

新型コロナウイルスの影響で、医療機関へ出向くことが難しくなった為、電話による連携が中心となりました。入院患者との面会が難しい時期もあり、情報収集に苦慮した場合もありました。

イ 生活支援体制整備事業

地域資源や課題の把握として、集落サロン等の高齢者の集まりの場へ訪問、出前講座には生活支援コーディネーターも同行し、助け合いの必要性の説明や聞き取りを実施しました。また、地域の自主組織に対して、活動実態の把握や情報提供等を行い、活動充実に向けた支援を行いました。令和 4 年度には、公民館がまちづくりセンターへ移行することから、地域組織との関係づくりとして、各地区集落支援員と情報共有も行っています。

新たな住民主体事業にかかる団体の活動支援として、地域住民による支え合い活動の理解や担い手養成を目的とした「担い手養成講座」を開催し、全 2 回で参加者計 26 名となっています。また、高齢者の生活支援活動立上げを目指す団体の打合せ等に参加し、トライアル支援として活動方法や体制づくりについて助言や情報提供を行いました。

地域への情報提供、活動報告として、生活支援コーディネーターだよりを 3 回発行し、各集落の自治会長や民生委員・児童委員、各地区公民館に配布しています。

事業項目	区分	回数	内容
生活支援協議体	全体会議	1	生活支援体制整備協議体会議
	庁内会議	1	地域包括ケアシステム構築推進庁内検討会議
	地縁団体会議	6	和合の里を創る会(環境福祉部会、地域の支え合い担い手研修、便利屋わごうサポーター説明会、便利屋わごうスタッフ打合せ会)
生活支援コーディネーター業務	地域実態把握	66	健サロン、ひょうたん島、御殿町いきいき百歳体操おもと会、ぐるっと健康広場、しあわせコスモス班、和合の里を創る会、健康100歳倶楽部、ふれあい(貢地目)、サロン緑町(立川)、抛り所しゃんしゃん、茶屋町老人クラブ亀鶴会、いけいけ体操(西袋)、駅前(余目)百才体操の会、お茶のみ会貢地目茶話会ふれあい、百歳体操in古関、若葉会(興野)、団町いきいきサロン、お茶のみ会(肝煎)、いきいき楽笑会(立谷沢)、キラキラシニア塾(清川)、各地区集落支援員、地域おこし協力隊、各地区地域見守り会議
	地域活動支援普及	7	大真木老人クラブ、サロン緑町(立川)、地域の支え合い担い手研修(和合の里を創る会)、助け合いの地域づくり勉強会、生活支援コーディネーター情報交換会、地域ケア会議推進事業研修会、酒田市生活支援体制整備協議会
	サロン等住民主体事業支援	62	はっぴいサポート、和合の里を創る会、健サロン、ひょうたん島、緑町(立川)自治会
	生活支援サービス把握	16	生活支援民間業者サービス調査、フタバ薬局、みしまや薬局、ツルハドラッグ余目店
多様な日常生活支援・社会参加推進	担い手養成講座	2	担い手養成講座
	担い手養成トライアル事業	0	
	地域資源発掘ワークショップ	1	担い手養成講座

ウ 認知症総合支援事業

・認知症地域支援推進員の配置

余目地域に1名、立川地域に2名配置し、地域で活動している団体から依頼を受けて、認知症の講話を開催しました。推進員活動の普及啓発の為、推進員個人のチラシの作成や、会議や研修会での宣伝を行いました。

・住民を対象にした相談・交流の場の開催

認知症地域支援推進員が町と協力して、認知症カフェを余目地域で8回の開催を実施しました。開催の際は検温の実施、参加者同士の間隔の確保、提供する茶菓子を個包装にするなど、新型コロナウイルスの感染予防に配慮しました。開催できない時期は、職員1名が会場に待機して、相談対応のみ行いました。また参加できない住民の為、カフェ通信を作成して情報提供を行いました。

また今年度より、立川総合支所で物忘れ相談会を開催しました。相談件数は延べ3件でした。周知活動として、立川地区の公共機関にチラシの配布を行いました。

・認知症初期集中支援チームへの協力

今年度は1件の依頼があり、医師と医療職・福祉職のチーム員により支援方法の検討を行いながら関りを継続しています。また、認知症初期集中支援チーム員研修を受講し、後に伝達研修会を行いました。

町が開催する自立支援型地域ケア会議では、町が目的とする高齢者の自立支援、生活課題の把握、地域課題の把握、専門職、関係職種等の資質向上をめざして協力しました。

包括支援センター職員もアドバイザーとして異なる職種 2 名が毎回参加し、専門職としてコメントすると共に、高齢者への自立支援の視点の共有を図りました。

地域ケア個別会議の開催は関係機関の協力を得て 2 回開催し、その内容から地域課題を整理し、町に提出しました。

③任意事業

ア 家族介護支援事業

認知症高齢者見守り事業（徘徊高齢者事前登録事業）は、警察や介護支援専門員から登録を勧められて行う方が多く、関係者と協力して登録手続きを支援しました。また、1 年に 1 回の登録内容の更新支援を実施しました。

7 月には余目第二公民館にて町が実施する高齢者徘徊声掛け訓練へ協力しました。

また、12 月には町が実施する家族介護者交流会の企画に協力しました。

イ 認知症サポーター養成講座への協力

町が実施する認知症サポーター養成講座に協力しました。今年度は町内の小中学校で開催されました。

ウ その他の事業

町のケアプラン点検の実施に主任介護支援専門員 2 名が協力しました。今年度は町内の居宅介護支援事業所と包括支援センターが年 2 回ずつプラン提出し、より質の高いケアプラン作成を目指して取り組みました。

2. 指定介護予防支援事業

①介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント業務

新規利用の方が年間通して 80 件でした。

通所型サービス B（住民主体による通いの場）に通所する方やしゃんしゃん便利便、はっぴいサポートのみを利用する方のプラン（ケアマネジメント C）を、2 件作成いたしました。

住民主体のサービスを利用しながら地域の方と交流し支え合いながら在宅で生活されています。

直営と委託のプラン数の割合は、52%が直営となっています。プランナーとしての負担が大きく、総合相談等他の業務に時間をあてるためにも、いかに居宅介護支援事業所への委託件数を増やしていくかが課題となっています。

表 2) ケアプラン作成数（各月プラン料請求件数、月遅れの請求を含まず。単位：件）

	① ケ ア マ ネ ジ メ ン ト A	② ケ ア マ ネ ジ メ ン ト B	③ ケ ア マ ネ ジ メ ン ト C	④ 予 防 支 援 （ 要 支 援 1 ）	⑤ 予 防 支 援 （ 要 支 援 2 ）	① ～ ⑤ 合 計	直 営	委 託	新 規
R1 年度	869	280	3	481	753	2,386	1,290	1,096	105
R2 年度	763	259	4	470	688	2,260	1,136	1,124	95
R3 年度	814	220	2	523	764	2,323	1,237	1,125	80

3. 一般介護予防事業業務

介護予防の普及啓発として、地域の老人クラブなどに出向いて出前講座を開催しました。また今年度は余目第四公民館で開催された「健康 100 歳クラブ」にて全体を通して協力し、体力測定や参加者への助言、講話を実施しました。

4. 今後の課題と対策

令和4年度は立川総合支所の改修工事（令和4年5月～令和5年7月）のため、4月に立川サブセンターの引っ越しを予定しています。お客様と関係機関への周知を図っていきます。

昨年と比較して新規の相談件数が増えており、中でも困難事例の対応が増加しています。認知症になりごみ屋敷で生活する身寄りのない方に対する支援については、民生委員さんを始めとする地域のネットワーク作りや障害者相談支援センター、生活困窮者等相談支援員との連携による継続した支援が必要と感じています。

予防プラン件数が委託よりも直営の件数が多く、いかに新規の利用者を居宅介護支援事業所に委託するかが以前からの課題となっています。

また、総合事業の家事支援に対応してくれる訪問介護事業所が3事業所のみでサービス調整が難しいのが現状です。

地域の現状を、行政を始めとする関係機関と共有し、現状を少しずつでも変えていくことが必要となっています。

5 介護サービス事業（介護サービス課）

（1）居宅介護支援事業

今年度は、4名で業務を行いました。これまでと同じように地域の身近な相談窓口として、相談に迅速に対応し介護保険の申請代行から必要なサービスが円滑に利用できるように支援を行っています。また現在担当している利用者の相談や利用者の状態に応じた計画の見直しをスムーズかつ適確に行いサービス利用に反映できるように支援しました。

① 実績報告

ケアプランの作成状況としては、新規受け入れは32名（前年度30名）ありましたが、看取りの方や、施設入所となる方も多く、月平均約115件（前年度122.5件）、年間を通して86件の減となりました。介護報酬については、前年度比441,720円の減収となりました。

1 職員当たり担当する件数は30.5名から33.6名（要支援・事業対象者を含む）と増加しています。庄内町からの受託事業の要介護認定調査業務は87件で、件数は27件の減となりました。前年度比118,800円の減収です。予防プランの作成件数は212件で、作成委託料は56,571円の増収。件数としては年間2件の増となりました。要介護認定調査件数は前年度と比較して減少しています。認定期間の長期化のため、今後も減少傾向が続くと思われます。予防プランに関しては、庄内町地域包括支援センターからの要請があった場合は断らずに受け入れするようにし、町民の皆様のお役に立てるように努めました。同居している家族の相談を受ける場合もあり、介護相談から申請など、庄内町地域包括支援センターと連絡をとりながら業務にあたってきました。

② 活動報告

直接来所相談される方は少なく、事業所をより多くの方から知っていただくため、事業所紹介のチラシを町内の医療機関と庄内町地域包括支援センターに配置していただくため訪問しました。

余目第二公民館で町が実施した徘徊声かけ訓練と、認知症講演会の寸劇に職員が協力しました。

内部研修としては、介護サービス課の研修委員会を中心に年2回の内部研修で、「感染症対策について」、「高齢者虐待について」行い、その他に介護サービス課として他部署にも声をかけして「感染対策のための実地での研修会」を開催しました。

外部研修はコロナ禍にあり、研修会が開催されない事も多かったのですが、酒田市ケアマネージャー連絡協議会に参加しました。庄内町や庄内町地域包括支援センター主催の研修に参加し知識・技術の向上に努めました。職員1名が、ケアマネのオンラインで更新研修を受講しました。あかね介護センターと共に庄内町居宅介護支援事業所事例検討会の当番事業所として役割を担いました。

介護支援専門員実務研修における実習生の受け入れの依頼がありましたが、実習生の都合で中止となりました。

③ 令和4年度にむけた課題

3月に常勤臨時職員が1名退職することとなり、新たに常勤臨時職員を迎えて業務することとなりました。又、包括課に他法人から出向していた主任介護支援専門員が任期満了となるため、介護サービス課の主任介護支援専門員が法人内で異動する事となりました。4月からは3名体制で業務することとなります。利用者にご不便をかける事が無いように相談業務にあたっていきます。法令遵守、知識・技術の習得に努め相談者に寄り添う支援に努めます。コロナ感染症拡大防止に努め、事業継続が図れるように情報収集を行い、行政や他のサービス事業所との連携を強化していきます。

(単位:件)

(単位:円)

月	(1)ケアプランの作成状況						(2)介護支援報酬		
	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合 計	3年度	前年度	増 減
4	43	33	18	8	8	110	1,806,540	1,977,310	-170,770
5	44	34	16	9	7	110	1,738,620	1,996,320	-257,700
6	45	32	18	12	7	114	1,921,900	2,057,050	-135,150
7	47	32	15	11	9	114	1,907,700	2,134,810	-227,110
8	48	32	13	15	9	117	1,887,920	1,975,880	-87,960
9	49	32	15	15	10	121	2,027,240	1,854,740	172,500
10	49	32	15	16	9	121	2,070,130	1,941,000	129,130
11	48	30	17	16	9	120	1,936,160	1,874,150	62,010
12	50	29	16	16	9	120	1,980,720	1,741,910	238,810
1	49	26	18	14	9	116	1,949,720	1,765,980	183,740
2	43	29	19	13	8	112	1,816,480	2,009,000	-192,520
3	42	26	21	12	8	109	1,774,210	1,916,080	-141,870
計	557	367	201	157	102	1,384	22,817,340	23,244,230	-426,890
前年	552	490	184	129	115	1,470			

(単位:円)

月	(3)要介護認定調査委託料				(4)予防プラン委託料				(5)住宅改修支援	
	件 数	3年度	前年度	増 減	件 数	3年度	前年度	増 減	件 数	委託料
4	9	39,600	52,800	-13,200	18	80,037	82,014	-1,977	0	0
5	7	30,800	39,600	-8,800	17	64,466	68,001	-3,535	0	0
6	9	39,600	39,600	0	18	74,337	63,165	11,172	0	0
7	5	22,000	66,000	-44,000	19	78,508	68,124	10,384	0	0
8	6	26,400	52,800	-26,400	20	88,379	57,084	31,295	0	0
9	8	35,200	52,800	-17,600	20	82,679	77,178	5,501	0	0
10	4	17,600	30,800	-13,200	17	64,296	62,043	2,253	0	0
11	10	44,000	30,800	13,200	18	74,157	64,893	9,264	0	0
12	6	26,400	39,600	-13,200	19	81,871	70,233	11,638	0	0
1	6	26,400	22,000	4,400	17	62,149	68,988	-6,839	0	0
2	7	30,800	52,800	-22,000	14	57,513	62,043	-4,530	0	0
3	10	44,000	22,000	22,000	15	55,974	64,029	-8,055	0	0
計	87	382,800	501,600	-118,800	212	864,366	807,795	56,571	0	0
前年	114				210				3	

(2) 訪問介護事業

常勤4名（内サービス提供責任者2名）、非常勤7名のヘルパーが直接利用者宅に訪問し、支援を必要としている方の心身の状況に応じたサービスを提供しました。2月末に常勤臨時職員が退職し、年度末には職員が減となりましたが、個々のアセスメントを十分に行い、有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるように生活全般を支援しました。

① 実績報告

介護保険の訪問介護は、利用人数は前年度比19名の増となりました。要介護の利用においては、身体介護に引き続き行う生活支援を必要とする利用者が多くなっております。介護報酬は3,652,358円の増収となりました。

庄内町からの受託事業の介護予防・日常生活支援総合事業の利用者数は24名減・利用回数は198回減で前年度比662,199円の減収となりました。

障害者居宅介護事業は、37,554円の増収となりました。利用者の状態の観察をおこない、変化やサインに気づき、適切な支援、早期対応へつなげております。

同行援護事業は、59,830円の増収となりました。利用人数は前年と同じ2名です。

訪問介護での減収の要因としては、2月に職員がコロナウイルスに罹患し業務を縮小して事業継続した事が上げられます。

② 活動報告

居宅介護支援事業者から新規利用者の受け入れを行いました。朝のデイサービスの送り出しを希望する方が多いため、引き続き関係者より調整を行って頂き対応しております。

障害者居宅介護事業では、介護者からの要望に相談支援員と連絡を取りサービス内容を見直し必要なサービス提供を行いました。

同行援護事業では、対応できる職員を増やすため1名が研修を受け資格取得を行い5名対応できるようになりました。

研修では常勤ヘルパー、非常勤ヘルパー共に介護サービス課の年2回の内部研修に参加し、知識を取得し、現場で実践できるように学びました。また、例年であれば常勤ヘルパーは山形県社会福祉協議会主催の訪問介護の研修会に参加しているのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止となりました。

非常勤ヘルパーに対しては、月1回常勤ヘルパーを含めた会議を2部構成で行い、事業所目標、個人目標を決めその都度テーマに沿い、介護サービスの質の向上を目的として努めました。コロナ禍のため感染防止対策を繰り返し研修し業務に生かしました。

また、今年は暴風雪に悩まされ、時間通りのサービス提供に大変苦労しました。

③ 令和4年度にむけた課題

介護保険では利用者が住み慣れた自宅で自分らしい生活ができるように、訪問介護の充実が求められています。当事業所においては、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス提供もしていますが、ヘルパー不足ですべての期待に応えられない状況です。ヘルパーの人数を増やすと共に利用者のニーズに添ったサービスを提供できるよう、職員の体調管理に努めたいと思います。

ホームページ、広報、パンフレットの掲示、設置にて事業所の周知、人材確保のPR活動に努めたいと思います。

(1) 介護保険及び居宅介護利用人数に関する調書

(単位:人)

	介護保険利用人数				指定居宅介護等利用人数				利用者 総数
	訪問介護	総合事業 (従前相当)	総合事業 (A型)	合計	身障居宅 介護	知的居宅 介護	同行援護	合計	
4月	43	13	9	65	9	0	2	11	76
5月	43	13	11	67	9	0	2	11	78
6月	42	15	10	67	8	0	2	10	77
7月	46	13	8	67	9	0	2	11	78
8月	47	11	9	67	10	0	2	12	79
9月	45	11	10	66	10	0	2	12	78
10月	44	11	10	65	10	0	2	12	77
11月	46	9	10	65	9	0	2	11	76
12月	46	8	11	65	11	0	2	13	78
1月	46	7	11	64	10	0	1	11	75
2月	38	6	11	55	9	0	1	10	65
3月	38	8	11	57	10	0	2	12	69
合計	524	125	121	770	114	0	22	136	906
前年	505	151	119	775	120	0	22	142	917
増減	19	-26	2	-5	-6	0	0	-6	-11

(2) 事業収入に関する調書

(単位:円)

	介護報酬		利用者負担金		障害福祉		収入計
	訪問介護	総合事業	訪問介護	総合事業	身障居宅介護	同行援護	
4月	2,243,223	268,506	273,547	32,080	113,720	46,600	2,977,676
5月	2,298,762	346,338	255,418	35,854	124,730	50,250	3,111,352
6月	2,056,212	332,055	233,298	36,895	120,440	54,950	2,833,850
7月	2,767,455	280,143	307,495	31,127	134,790	45,300	3,566,310
8月	2,221,738	266,031	289,262	29,559	141,380	48,910	2,996,880
9月	2,601,850	255,330	330,130	28,370	121,580	47,610	3,384,870
10月	2,696,148	230,796	347,222	26,543	144,950	54,560	3,500,219
11月	2,654,065	195,876	335,205	20,865	149,170	50,230	3,405,411
12月	2,302,881	209,457	294,509	23,273	136,734	31,980	2,998,834
1月	2,253,953	181,386	258,497	20,154	146,378	34,610	2,894,978
2月	1,386,282	114,516	163,733	12,724	80,992	17,970	1,776,217
3月	1,656,648	204,894	214,469	22,766	145,540	42,620	2,286,937
合計	27,139,217	2,885,328	3,302,785	320,210	1,560,404	525,590	35,733,534
前年	23,502,671	3,585,190	2,580,666	282,547	1,522,850	585,420	32,059,344
増減	3,636,546	-699,862	722,119	37,663	37,554	-59,830	3,674,190

6 障害福祉サービス事業（障害者多機能型施設ひまわり園）

○ 概 要

利用者の個々のニーズに合った、きめ細やかなサービスの提供を目的に、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律（障害者総合支援法）に基づき、障害者多機能型施設として運営しております。

今年度についても、コロナの影響で、外部での行事は中止となりました。そんな中感染対策を行いながら、園内でできる事を各事業で実施し、利用者の活動が限定的なものにならないよう配慮してまいりました。

また『庄内町障害者相談支援センター』との連絡、調整を図り、迅速な情報収集、潜在ニーズ把握等に努め、円滑な施設運営をおこなっております。

各事業、各活動に関わる利用者の特性を活かし、自立にむけて日々様々な活動をおこない、個々の適性にあった支援をおこなっております。

○ 報 告（事業別）

（1）生活介護事業

地域生活を営むうえでの生活能力と作業能力の向上を目的に支援を実施いたしました。レクリエーションや、個別のリハビリも実施し運動能力低下の防止のための支援も実施。一人ひとりが、楽しみながら活動に参加することができました。

事 業	内 容
コミュニケーション訓練	挨拶、会話、公共マナー、漢字・計算練習（希望者）
日常生活訓練	掃除・洗濯の実習、金銭の使い方、買い物実習
作業活動訓練	木工、雑巾縫い 作品作り（貼り絵など） 受注作業訓練…木工トレー・木工ケースの研磨 （日本モッキ、杉山木工より請負）
事業活動	ひな祭り会（顔出しパネルの写真撮影）
個別リハビリ	火、金 実施（運動機能低下防止運動）
レクリエーション	火、金 実施

（2）就労移行支援事業

一般就労に向けて事業所内および企業等で実習を行い、適性に合った職場探しや就労後の職場安定の支援を実施いたしました。

令和3年度は、就職者1名、実習を多数実施いたしました。

企業実習

（企業名敬称略）

協力企業名	実 習 内 容	期 間
千葉農園	原木の管理 1名	4月～5月 12日間
山水園	清掃体験	11月 5日間
有限会社佐藤クリーニング	クリーニング業務補助	3月 10日間

作業活動

木工トレー・木工ケースの研磨（日本モッキ、杉山木工より請負）

菊のがく取り 丸果庄内青果株式会社

段ボール組み立て 株式会社日本アビリチーズ社

就労支援

支援項目	支 援 内 容
コミュニケーション 社会マナー訓練	実習に行く際の挨拶、職場でのマナーを実際の現場を想定し練習、座学を実施。 挨拶練習リストをつくり、大きな声での挨拶練習を実施。
他機関連携	ハローワークを利用し、求人検索・就職相談を実施。 庄内障害者就業・生活支援センター・庄内町保健福祉課・庄内町商工観光課等と連携して就労支援を実施。
相談支援	日常生活・就労に関して利用者からの訴え、また園内生活で問題がある場合等、個別に面談し、助言・支援を行った。

(3) 就労継続支援（B型）事業

事業所内で就労および生産活動の機会を提供し、能力の向上や維持を目的に支援、合わせて一般就労へ向けての支援を実施いたしました。

今年度も、コロナウイルス感染症の影響でバザーが中止になるなど、売り上げが伸び悩んだが、関係機関を対象にひまわり園「お菓子の定期便」を継続して行いました。チラシを活用し注文方式の販売を実施し一定の売り上げを確保することができました。

今後も利用者の衛生・安全管理を徹底し「おいしい・安心・安全」な商品製造を進めてまいります。

受注活動

(企業名敬称略)

	活 動 内 容	協力企業名
継続活動 (前年度より)	漬物シール貼り	(株)マルハチ
	きんちゃく結び	ハナブサ醤油(株)
	せんべい包装作業	(株)酒田米菓
	コア（電子部品）の組み立て・分解作業	株式会社 ウエノ
	書類の封詰め宛名貼り作業	庄内町保健福祉課
	庄内町高齢者世帯除雪作業	
	出荷梱包検査	(株)桜本製作所

菓子製造・販売活動

- ・ 庄内町、庄内地域の地域資源を活用した菓子製造
- ・ 各種バザー販売への参加

酒田市役所バザー（年2回）・松山いきいきクラブ「満福市」（年8回）

松山健康福祉フェア7月1回・庄内町さんさんバザー12月3日間

町湯販売2回（12月・3月）

実習活動

- ・ 千葉農園

(4) 就労定着支援事業

○概 要

福祉サービスを利用し、就職した方に対し、企業等に訪問し安定して就労できるように、企業との連携、本人への助言等を実施しました。

支援した事業所

◎株式会社アーバンルック ◎NOSAI 山形庄内支所 ◎イオンモールBIG酒田北店
◎日本海総合病院 ◎山水園小規模多機能型居宅介護事業所 ◎(有)佐藤クリーニング

(5) 地域活動支援センター事業

○概 要

生活支援員2名を配置し1日10名を定員として庄内町在住の障がいをお持ちの方や医療機関を受診している方などを対象に、自宅を出て活動する場所として事業を展開いたしました。

利用ケースとしては、離職して次の仕事、利用するサービスが決まるまで活動場所が欲しいと言った方、精神科入退院を繰り返す方への退院後の活動場所として活用される方等が利用されており、緊急時、個別対応が必要な際など柔軟な支援を実施しております。

○令和3年度利用実績(単位 人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延べ人数	82	67	95	73	71	75	64	55	69	64	62	73	850
実人数	16	12	16	12	13	11	13	15	14	13	12	15	162
令和3年度 平均利用者数	3.9	3.7	4.3	3.6	3.3	3.8	3.1	2.7	3.2	3.3	3.4	3.3	3.5
令和2年度 平均利用者数	1.8	2	2.6	3.9	3.6	3.9	5	4.1	4	3.7	3.6	3.6	3.4

○令和3年度活動内容

項目	内容
交流活動	ひまわり園の受注作業を体験しながら、作業交流実施。外部交流活動については、新型コロナウイルス感染防止のため未実施。
相談支援	個別で相談がある場合は、面談実施。必要に応じて庄内町障害者相談支援センター、指定相談支援事業所と連携して支援実施。
創作活動	ひまわり園の受注作業実施。 独自の創作活動では、クラフトテープを使ったかご作り、新聞エコバックづくり、塗り絵、ガーデニング用品作成、スケッチなどを実施。
その他	ひまわり園本体と入口も別なので、障害者施設は行きにくいと言っていた方も利用しやすくなっている。

○今後の課題

生活介護事業については、利用率は上がっているものの、まだ安定運営に向けては、

課題がある。毎日来れる方、曜日を限定して利用される方のバランスを見て、定員の充足を目指す必要がある。

就労移行支援・就労定着支援・継続支援 B 型の 3 事業については、安定運営のためには、就職者と長期間の就労・工賃実績が求められるため、継続して外部関係機関と連携しながら、実績向上を目指していく必要がある。

多様化する利用者特性に対応すべく職員の支援能力向上も今後の課題となっております。

また、園内がどうしても手狭になってきており、隣地の旧シルバー跡地を活用させていただけるよう町に働きかけ、活用できる補助金・助成金を十分に利用しながら増改築を行えるよう取り組んでいきたい。

令和 3 年度 障害者多機能型施設ひまわり園 実績一覧 (利用状況)

年月	利用 日数	生活介護					就労移行				就労継続			
		利用 者数	延営業 日数	延利用 日数	利用率 (R3)	利用率 (R2)	利用 者数	延利用 日数	利用率 (R3)	利用率 (R2)	利用 者数	延利用 日数	利用率 (R3)	利用率 (R2)
3.04	21	8	168	142	84.5%	73.0%	6	121	96.0%	116.7%	15	298	94.6%	89.8%
3.05	18	8	144	118	81.9%	75.0%	6	93	86.1%	105.6%	15	257	95.2%	94.8%
3.06	22	8	176	150	85.2%	75.0%	7	109	82.6%	122.7%	15	320	97.0%	97.3%
3.07	20	8	160	129	80.6%	75.4%	7	123	102.5%	119.8%	15	293	97.7%	95.2%
3.08	21	8	168	125	74.4%	60.0%	7	102	81.0%	108.3%	15	274	87.0%	88.0%
3.09	20	8	160	150	93.8%	79.2%	6	93	77.5%	114.2%	15	282	94.0%	97.0%
3.10	20	8	160	156	97.5%	80.3%	6	109	90.8%	114.4%	15	302	100.7%	97.0%
3.11	19	8	152	137	90.1%	85.1%	6	98	86.0%	113.2%	15	276	96.8%	98.9%
3.12	20	8	160	149	93.1%	79.2%	6	114	95.0%	111.7%	15	300	100.0%	98.0%
4.1	19	8	152	139	91.4%	100.9%	6	123	107.9%	92.1%	14	261	91.6%	97.9%
4.2	18	8	144	137	95.1%	100.0%	5	72	66.7%	91.7%	15	264	97.8%	97.4%
4.3	22	8	176	159	90.3%	97.1%	5	108	81.8%	95.7%	15	326	98.8%	96.5%
計	240	96	1,920	1,691	88.1%	75.8%	73	1,265	87.8%	114.0%	179	3,453	95.9%	95.1%

※ 利用率＝(契約者延べ利用日数)÷(営業日数×定員数)

令和3年度 障害者多機能型施設ひまわり園 実績一覧（工賃支給）

年月	工賃【生活介護】			工賃【就労移行】			工賃【就労継続】		
	金額	令和3年	令和2年	金額	令和3年	令和2年	金額	令和3年	令和2年
3.04	7,915	989	746	23,176	3,863	1,388	216,646	14,443	13,579
3.05	6,917	865	280	42,938	7,156	1,192	235,696	15,713	15,387
3.06	4,107	513	450	23,063	3,295	1,801	222,080	14,805	14,699
3.07	8,330	1,041	200	30,714	4,388	3,198	223,852	14,923	14,380
3.08	5,763	720	317	24,435	3,491	1,392	199,198	13,280	13,271
3.09	4,669	584	333	23,971	3,995	2,831	215,448	14,363	15,119
3.10	6,752	844	386	28,715	4,786	3,071	219,554	14,637	14,653
3.11	6,531	816	157	28,613	4,769	1,686	220,296	14,686	14,941
3.12	9,442	1,180	647	34,193	5,699	2,364	226,908	15,127	14,787
4.1	9,056	1,132	699	39,176	6,529	3,302	209,844	14,989	14,639
4.2	5,906	738	781	26,346	5,269	4,955	223,872	14,925	14,588
4.3	7,815	977	662	23,901	4,780	3,504	226,244	15,083	14,452
臨時	—	—	—	—	—	—	1,310,843	87,390	52,687
計	83,203	867	486	349,241	4,784	2,508	3,950,481	22,070	18,932

※ 平均額＝(収入額－諸経費)÷契約者数

令和3年度 障害者多機能型施設ひまわり園 地域活動支援センター 実績一覧（利用状況）

年月	地域活動					
	定員数	利用者	延営業日数	延利用日数	利用率(R3)	利用率(R2)
3.04	10	12	210	82	39.0%	19.0%
3.05	10	11	180	67	37.2%	19.5%
3.06	10	13	220	95	43.2%	29.5%
3.07	10	12	200	73	36.5%	39.1%
3.08	10	13	210	71	33.8%	34.3%
3.09	10	12	200	75	37.5%	41.1%
3.10	10	13	210	64	30.5%	52.4%
3.11	10	15	200	55	27.5%	39.5%
3.12	10	14	200	69	34.5%	42.0%
4.01	10	13	190	64	33.7%	37.9%
4.02	10	12	180	62	34.4%	36.1%
4.03	10	15	220	73	33.2%	36.5%
計			2,420	850	35.1%	35.1%

※ 利用率＝登録者者延べ利用日数)÷(営業日数×定員数)